

重点政策（政策評価）の見方

重点政策 5

世田谷の文化の創造と知のネットワークづくり

重点政策名を記載

(1) 政策目的

文化・芸術・歴史・スポーツを多世代で楽しむ都市をめざします。

基本計画における重点政策を達成するため、当政策が目指す姿を記載

(2) ロジックモデル

アウトプット (新実施計画事業)	取組み方針	アウトカム (成果指標)	インパクト (政策目的)
308 文化・芸術・歴史資源の魅力 発信と子どもの創造性の育み (p262) 生活文化政策部 315 まちなか観光の推進 (p304) 経済産業部 213 知と学びと文化の情報拠点と しての新たな図書館の創造 (p218) 教育委員会事務局 309 地域での生涯を通じたスポー ツの推進 (p268) スポーツ推進部	区民が生涯を通じて 学び、文化・芸術・歴 史に親しめる環境づ くり 多世代が集う図書館 を情報拠点とした、文 化の創造と知のネッ トワークづくり 総合型地域スポー ツ・文化クラブの新規 設立や既存クラブの 支援、障害者スポー ツの推進など、だれもが	1. 文化・芸術に親し める環境の区民 満足度 2. 成人の週1回以上 のスポーツ実施 率	文化・芸術・歴史・ スポーツを多世代で 楽しむ都市をめざ す。
「重点政策を構成する新実施計画事業」、「4年間の取組み方針」、「成果指標」、「政策目的」を 体系化し、政策目的の達成に至るまでの道筋を記載			

(3) 政策の成果

成果指標	策定時 平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 3 年度 (2021 年度) 目標	令和 3 年度 (2021 年度) 目標に対する 達成状況
1. 文化・芸術に 親しめる環境 の区民満足度	55.2%	47%	46.7%	50.2%	54.2%	60%	4%
2. 成人の週1回 以上のスポー ツ実施率	47.3%	42%	51.6%	45.5%	48.2%	60%	7.1%

政策の成果を測る成果指標及び令和3年度目標に対する達成状況を記載

○：令和3
：目標達

・令和3年度目標に対する、当該年度実績の達成状況（目標に対する進捗率）を記載
原則、以下の計算式で算出している。
（当該年度の実績 - 計画策定時の値） / （令和3年度目標 - 計画策定時の値）
実績が計画策定時の値を下回っている値は「」（マイナス）」で記載
小数点以下第2位を四捨五入
ただし、±1,000%以上のものについては「—」で表示

・令和3年度目標に対する、当該年度実績の達成状況（目標に対する進捗率）において、
原則、100%以上を達成している場合は○、100%未満の場合は を記載

重点政策（政策評価）の見方

(4) 成果の達成度に対する評価等

1) 横断的連携の取組みに対する評価

区内外への文化・芸術の魅力の発信（生活文化政策部、経済産業部）		
連携の内容		
「せたがや文化マップ」を区内公共施設のほか三軒茶屋観光案内所や区内の観光情報コーナー、東京都庁の東京観光情報センター等に配架するとともに、世田谷区産業振興公社と連携し、観光ホームページ「エンジョイ！SETAGAYA」で区の文化・芸術施設の案内や展覧会、文化イベントの紹介等の情報発信を行った。		
成果	取組み項目	令和3年度実績
区民等が身近な場所で区の文化・芸術に関する情報を得る機会を提供することができた。また、観光ホームページで紹介することにより、より幅広い層への情報発信に繋がり、文化・芸術の魅力発信を効果的に行うことができた。	せたがや文化マップの配布・観光ホームページ掲載	実施
	せたがや文化マップの配布（配架箇所数）	57 か所
総括・今後の進め方		
「せたがや文化マップ」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一時、紙媒体の配布数が減少したが、行動制限が徐々に解除される中、遠方への外出を控えた区民等が、身近な観光に目を向けるようになり、配布数も回復傾向となった。今後も、区の文化・芸術の魅力を区内外に発信するため、紙媒体の発行、区内各所での配布、観光ホームページを活用した情報発信に継続して取り組んでいく。		

政策の推進に向け、新実施計画（後期）で掲げた横断的連携により進める取組みについて、「連携の内容」、「成果（取組み項目・令和3年度実績）」、「総括・今後の進め方」を記載

2) 参加と協働の取組みに対する評価

区民と協働して世田谷の魅力を発信するせたがや歴史文化物語の取組み		
協働の内容		
区内の文化財群と周辺環境を一体的に捉え、「せたがや歴史文化物語」として平成30年度に区民とのワークショップにより17のテーマを設定した。令和3年度は「世田谷代官屋敷」、「大場家住宅」及び「豪徳寺」等のテーマから、歴史や文化財の魅力など区民が求める情報や効果的な伝え方をワークショップで実施し取りまとめた。		
成果	取組み項目	令和3年度実績
歴史や文化財の魅力など区民が求める情報等を抽出して、より優れたわかりやすい冊子を作成し、区内文化施設や観光関連施設、区内小学校等で配布した。紙媒体での情報発信に加え、世田谷デジタルミュージアムを活用したデジタル媒体での情報発信を行うことにより、複数の媒体で世田谷の歴史や文化財を伝えることができた。	「せたがや歴史文化物語」ワークショップの実施	1回
総括・今後の進め方		
冊子による情報発信のほか、さらに歴史文化の継承を図るためインターネットでの情報発信の強化を進める。		

政策の推進に向け、新実施計画（後期）で掲げた区民・事業者との参加と協働により進める取組みについて、「協働の内容」、「成果（取組み項目・令和3年度実績）」、「総括・今後の進め方」を記載

3) 成果の達成状況に対する評価及び今後の政策展開

○各成果指標の達成状況

文化・芸術に親しめる環境の区民満足度については、コロナ禍の影響を受けながらも創意工夫により様々な事業を展開したが、前年度から4.0ポイントの上昇にとどまり、令和3年度の目標達成には至らなかった。

各成果指標の「令和3年度（2021年度）目標に対する達成状況」を踏まえた評価を記載

令和

○各取組みの達成状況

区民が生涯を通じて学び、文化・芸術・歴史に親しめる環境づくりについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中、文化事業において実施手法の見直しを行い、オンライン形式事業を実施するとともに、コロナ禍で文化・芸術活動の再開・継続が困難な状況にある区民、文化・芸術団体等を支援する事業に取り組む等、従来どおりの事業展開ができない中でも手法を工夫し、区民が文化・芸術に触れ親しむ機会を提供することができた。

知と学びと文化の情報拠点としての図書館の充実においては、令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時休館やイベントの中止等により、図書館利用が制限される中、段階的なサービス再開や電子書籍サービス拡充、参加人数を制限してのイベント開催等の方策により図書館サービスの継続を図ったが、計画どおりの成果を達成することはできなかった。

だれもがスポーツに親しめる機会の創出に向けては、大学や企業と連携し、オンライン機能の活用や感染症対策を講じながら、パラスポーツの実施機会の拡充、普及啓発を図ることができた。総合型地域スポーツ・文化クラブについては、学校や地域にクラブの目的や活動内容を周知するなど、地域住民による自主運営のための環境づくりに協力した。また、地域の方々が参加し、だれもがスポーツに親しめる活動機会の創出に取り組んだ。新規クラブ設立について

各取組みの達成状況を踏まえた評価を記載

に向けて準備を進めることができた。

○4年間の総括及び今後の政策展開

区民が生涯を通じて学び、文化・芸術・歴史に親しめる環境づくりに向けては、「世田谷区第3期文化・芸術振興計画」に基づき、区民が文化・芸術の魅力を知り、親しむことができる環境を創出するため様々な文化事業に取り組んできた。コロナ禍の影響で区立文化施設の休館や事業中止を余儀なくされる状況もあったが、感染防止対策の徹底と事務事業や実施手法の見直しを図り、文化事業を実施した。今後も、コロナ禍の経験を踏まえ、多様な事業手法を活用し、「世田谷区第3期文化・芸術振興計画（調整計画）」に基づく、文化・芸術振興施策の推進に取り組む。

多世代が集う図書館を情報拠点とした、文化の創造と知のネットワークづくりに向けては、区民の多様な学習活動に対応するため、レファレンス機能の充実や地域情報の収集・発信、ボランティアの育成等、図書館サービスの充実に向けて取り組んできた。今後も、コミュニティ意識や区民参画の促進を進めていく必要がある。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きかったが、臨時休館等の経験を踏まえ、図書館サービスの継続手法や非来館型の新規・代替サービス等の検討を進め、より多くの区民が安心して図書館を利用できる取組みとともに、区民ボランティア等が主体的に図書館運営に参画する取組みを進め、成果の向上に繋げていく。

だれもがスポーツに親しめる機会の創出については、人材育成やボッチャをはじめとする事業の実施、物品貸出支援等により、パラスポーツの推進を図った。今後は、地域団体等が主催する講習会等へのボッチャ講師の派遣事業や、動画配信等オンラインツールを活用したパラスポーツの講習会等、コロナ禍を踏まえて、新たな手法による事業実施に向けた取組みを進め、障害者がスポーツ・レクリエーションに参加する機会の更なる拡充を図っていく。総合型地域スポーツ・文化クラブの新規設立には、時間を要するため、地域人材の育成や地域資源の掘り起こしを積極的に進めながら、参加と協働のさらなる促進に向けた政策展開を進める。

各成果指標や取組みの達成状況を踏まえた、計画期間4年間の総括と今後の政策展開を記載